

## 日曜日礼拝順序

憩いの場

2019年7月14日 午前11時 南部チャペル

“ことばの命”

前奏	鈴木義兄	
頌栄	539	
開会の祈り	Scroggins 由紀牧師	
主の祈り	一同	
讚美	賛美歌3番	“あめつちの御神をば”
祈りの時	Scroggins 由紀牧師	
聖書拝読	一同	
	使徒行伝10章1-16節	
讚美	賛美歌262番	“十字架のもとぞいとやすけき”
説教	“ペテロとコルネリオ 1”	Scroggins 由紀牧師
讚美	賛美歌2篇184番	“神はひとり子を”
献金	坂田淑姉	
報告		
頌栄	541	
祝祷	Scroggins 由紀牧師	
後奏	鈴木義兄	

(礼拝終了:奉仕開始)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

光の会 午前9時30分

“この言に命があった。そしてこの命は人の光であった。”(ヨハネによる福音書1章4節)

私が話す日本語は、一応標準語ですが、ときどき東京は標準語と思われていることが不自然な感じがします。というのも東京といっても、私の実家は以前は郡と呼ばれるところにあつたので、地元の人たちには方言がありました。何十年も前の話ですが、地元の人たちがいる限り、現在も方言は残っているのではないかと思います。私を含めて、半分以上の同じクラスの人たちは外から来たので、その方言は使いませんでした、自分たちの方言を隠すこともなく自然に使っていた地元の人たちの存在感は大きなものでした。言うまでもなく、アメリカにもさまざまな方言がありますが、どの言語、方言にかかわらず、内在する言葉をすべて肯定できる人は幸せで、心の安定とはそこにあるような気がします。グローバル社会において、移動、というのは切っても切れないですが、過去から現在に至るまでに触れた様々な言葉、そしてこれからも触れる言葉を大事にしていきたいと思います。

聖書の中で、ヨハネははじめにことばがあつた、と主イエスのことを言っており、このことばに命があつた、そしてこの命は人の光であつた、とも言っています。そしてことばは、当時のユダヤ人たちが厳格に守ろうとしていた律法をこえるものでした。この世の流れは、近年、律法的になり、機械的になりつつあります。標準化されてきているといってもいいでしょう。しかし、神は人工的に世界を統一されるのではなく、人類に与えられた主イエスという命のご臨在を通して、あらゆる国の人々の恵みを与えてくださいました。そして、世界のありとあらゆる言語や方言を通して、主イエスは、今日も私たちに語り掛けてくださっています。

(Scroggins 由紀)

## 記事: 消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、下竹寛子姉、Chieko Dano 姉、英語部の Donna Barlow 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。また新しく発足されました光の会に神の祝福がありますようにお祈りください。

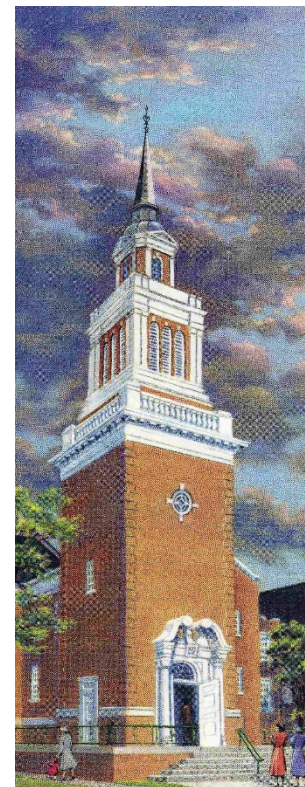
## お知らせ

—毎週日曜日、午前9時30分より、南部チャペルにて、“光の会”と題して朝のさわやかな光の中で、対話と祈りをもって気軽に集う会を設けております。キリスト教に興味がある方、教会をしばらく離れている方、祈りを必要とされている方、どうぞご参加ください。

—8月11日は教会のピクニックが教会前の Lakewood 通りにて行われます。日本語部は礼拝後、すぐに参加しますが、詳細に関しては追ってお知らせいたします。

今週の讚美：輝く日を仰ぐとき

<https://www.youtube.com/watch?v=ytIHb-oVF64>



# 週報

第3728号

2019年7月14日

---

発行: 2019年7月10日ノースショアバプテスト教会日本語部  
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)  
電話: 773-728-4200

ノースショア バプテスト教会 日本語部  
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: [www.northshorebaptist.org](http://www.northshorebaptist.org)